

平成18年度  
事業報告書  
(第56期)

自 平成18年4月 1日  
至 平成19年3月31日

財団法人 潤和リハビリテーション振興財団

## 目 次

### 保健医療学術研究事業

1 潤和リハビリテーション診療研究所	
1) 研究事業	2
外部委託研究	2
内部研究	2
2) 普及事業	2
リハビリテーションに関する啓発活動	2
福祉用具専門相談員指定講習会の開催	3
認知症介護実務者研修会の開催	3
宮崎県県央県南地域リハビリテーション 広域支援センターの活動	3
高齢者ソフト食の普及啓発活動	3
3) 在宅及び通所機能訓練の推進事業	4
2 附属機関の運営事業	
1) 潤和会記念病院	4
2) 潤和会検診センター	5
3) 延岡リハビリテーション病院	5
4) 所沢リハビリテーション病院	5
	6
5) 介護老人保健施設 ひむか苑	6
6) 潤和会在宅医療支援センター	6

### 理学療法士養成事業

宮崎リハビリテーション学院	7
---------------	---

### 処務の概況

1) 役員・評議員に関する事項	8
2) 職員に関する事項	10
3) 契約に関する事項	10
4) その他の事項	10

## はじめに

身体の疾病あるいは災害によって障害を生じた者の機能回復（リハビリテーション）に関する研究と併せて、疾病の予防・治療など保健事業を総合的に推進することを目的として、次の事業を実施した。

### 保健医療学術研究事業

#### 1 潤和リハビリテーション診療研究所

当研究所においては、疾病あるいは災害により身体に障害を生じた者の機能回復（リハビリテーション）に関する研究を行い、併せて疾病の予防・治療及び予後のケアなど保健・医療事業を総合的に推進するため、リハビリテーションに関する基礎的及び臨床的研究を当財団内部関連施設と外部関係医療機関・研究機関へ研究委託することによって事業を推進した。地域リハビリテーション推進事業については、普及事業の一環として前年度に引き続き厚生労働省指定の「福祉用具専門相談員指定講習会」並びに宮崎県委託の「認知症介護研修会」を開催した。

##### 1) 研究事業

###### 外部委託研究

研究テーマ	研究委託先
コンピューター化リハビリテーション機器の開発	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 川平 和美先生他7名
脳虚血の病態解明とリハビリテーションに関する研究	大分大学医学部脳神経外科 久保 毅先生他4名
人口内耳装用者の聞こえに関する客観的評価と主観的評価の比較	九州大学病院耳鼻咽喉科 堀切 一葉先生他5名
大腿骨頭回転骨切り術後の効果的リハビリテーションプログラムの検討	九州大学大学院医学研究院整形外科 岩本 幸英先生
クローン病における術中内視鏡の有用性の検討	宮崎大学医学部腫瘍機能制御外科 千々岩 一男先生他7名
高齢者の動脈硬化の評価と背景因子に関する研究 - 新規導入維持血液透析患者の酸化脂質についての検討 -	宮崎大学医学部第一内科 山田 和弘先生他2名

\* 研究結果報告については、別冊「潤和リハビリテーション診療研究所平成18年度事業報告書」に記載

###### 内部研究

研究テーマ	研究者氏名
頸椎神経根症に対する治療法	記念病院脳神経外科 呉屋 朝和
高周波パルス照射法で得られる鎮痛効果とその持続期間の観察	記念病院高周波パルス照射法チーム 宇野 武司
通所リハビリテーションあびりんと訪問看護ステーションやわらぎ訪問リハビリテーションにおける併用展開の効果について	訪問看護ステーションやわらぎ 井上 宏治他9名
嚥下食における高齢者ソフト食の標準化 ～第3弾～	高齢者栄養管理研究会 黒田 留美子 他3名

\* 研究結果報告については、別冊「潤和リハビリテーション診療研究所平成18年度事業報告書」に記載

##### 2) 普及事業

リハビリテーションに関する啓発活動

地域リハビリテーションの知識や技術の普及を積極的に支援するため、関係機関・各種団体からの要請を受けて、研修会講習会等へ講師を派遣した。

福祉用具専門相談員指定講習会の開催

厚生労働大臣指定講習会を下記のとおり開催した。

回数	開催期間	受講者数
第1回	平成18年6月19日(月)～6月23日(金)	24名

認知症介護研修会の開催

宮崎県の委託を受けて、下記のとおり研修会を開催した。

課程	開催期間	受講者数	
実践者 研修	第1回	平成18年5月29日(月)～6月2日(金)	35名
	第2回	平成18年10月16日(月)～10月20日(金)	32名
実践 リーダー 研修	講義演習	平成18年7月31日(月)～8月11日(金)	29名
	施設実習	平成18年8月21日(月)～8月25日(土)	
	自施設実習	平成18年8月26日(土)～10月5日(木)	
計		96名	

宮崎県県央県南地域リハビリテーション広域支援センターの活動

宮崎県からの指定を受け財団附属機関の機能を活用し、圏域のリハビリテーションに関する支援普及活動を行った。

- ) リハビリテーション実施機関等への支援
    - 相談窓口の設置
      - リハビリに関する相談対応件数・・・45件
    - 広報活動
      - 公文書を関係機関に送付し、広域支援センター活動のPRを行った。
  - ) リハビリテーション施設の共同利用
    - 宮崎県作業療法士会の新人教育プログラムの研修会や宮崎徒手療法研究会の勉強会会場として共同利用を行った。
  - ) リハビリテーション従事者の援助及び研修
    - ・技術指導援助
      - 指導要請に基づく技術員派遣・・・2カ所(延13回)
    - ・研修会の開催
      - 延10回開催
  - ) 連絡協議会の設置・運営
    - 宮崎東諸県地域リハビリテーション協議会、地域リハビリテーション広域支援センター連絡会議等に出席した。

高齢者ソフト食の普及啓発活動及び研究推進

診療研究所の内部研究事業として取り組んできた高齢者ソフト食について各方面からの講演依頼が多く、その要請に応え講師を派遣し普及啓発に努めるとともに、研究開発も推し進め、新しい食形態の開発を行った。

- ) 講演会への講師派遣
    - 講演会派遣回数 延37回
    - 内訳(県外:28回、県内:9回)
    - 派遣依頼先は各県栄養士会が11件、保健所他自治体7件、各団体大会12件、学会・セミナー4件、その他3件
  - ) 研究開発の推進
    - 大学等の公的機関からの要請に応え、ソフト食の共同研究に協力するとともに、引き続き新食形態の考案や新メニューの開発を行った。
    - また、厚生労働科学研究補助事業として、ソフト食を提供した施設利用者に対する実効性の検証に協力し調査した結果、良好な喫食率及び栄養状態の確保が実証された。

\* 詳細報告については、別冊「潤和リハビリテーション診療研究所平成18年度事業報告書」に記載

### 3) 在宅及び通所機能訓練の推進事業

市町村の行う保健福祉事業を支援する目的で、老人保健法及び身体障害者福祉法に基づく通所機能訓練と訪問指導に携わる理学療法士・作業療法士のスタッフを市町村に派遣した。なお、本事業について市町村の合併や自立支援の観点に立った自治体独自の新予防給付事業の検討などにより、平成18年度は1町のみ派遣依頼となった。

平成18年度の実績は次のとおりである。

派遣先	区 分	年間派遣回数(回)
宮崎県東諸県郡国富町	訪問指導	36
	通所機能訓練	16

## 2 附属機関の運営事業

### 1) 潤和会記念病院

当院は、従来より脳血管障害の急性期医療から慢性期医療に至るまでの一貫した脳血管障害医療に取り組んできた。現在は医療圏の中での脳血管障害の救急医療センター的役割も果たしている。平成18年度は医療法の改正及び介護保険法改正に対応し大幅な病棟の再編を行った。3つの介護療養病棟を医療保険病棟へ移行し、内2病棟は医療療養病棟へ、残りの1病棟を回復期リハビリテーション病棟とした。その結果、当院は急性期病床144床、亜急性期病床20床、回復期リハ病床154床、医療療養病床108床の全病床数で426床となった。回復期リハビリテーション病床数154床は全国でも屈指の病床数であり、当院の得意分野であるリハビリテーションを活かす体制がなお一層充実した。更に、高齢化とともに増加している関節疾患、虚血性心疾患、脊椎脊髄疾患、消化器疾患等についても地域のニーズに応える医療の提供の充実を図った。平成19年1月には増加する患者、特に神経疾患や癌患者等の痛みへの対応を強化する目的で外来棟を増築し、診察室4部屋を増設すると共に、特にペインクリニックの診察室を拡大し、増加する痛みの患者へ対応する体制を強化した。また、平成19年2月には日本病院機能評価機構の県内初のバージョン5の認定病院となり社会的信頼を高めた。本年度は、今後急性期病院として生き残っていく道として平成20年にDPC対象病院へ移行するための準備も確実に進めて来た。

入院・外来等調

病床数		4~6月	7~9月	10月~
		(医療保険)	264床	372床
	(介護保険)	162床	54床	
	合 計	426床	426床	426床
平均入院患者数 (一日平均)	(医療保険)	323.6人		
	(介護保険)	43.6人		
	合 計	367.2人		
平均在院日数 (年間平均)	(医療保険)	40.7日		
	(介護保険)	225.5日		
	合 計	45.0日		
入院患者延べ数	(医療保険)	2,907人		
	(介護保険)	46人		
	合 計	2,953人		
		* 介護保険病床 S館4F・6F(平成18年4~6月) S館5F (平成18年4~9月)		
退院患者延べ数	(医療保険)	2,853人		
	(介護保険)	95人		
	合 計	2,948人		
外来患者延べ数	(初診患者数)	9,324人		
	(再診患者数)	42,657人		
	合 計	51,981人		

## 2) 潤和会検診センター -

当検診センターでは、健康増進及び生活習慣病に対する脳ドック検診、政府管掌健康保険生活習慣病予防健診を主体に実施しており、政府管掌健康保険生活習慣病予防検診及び脳ドックについては、前年度以上の実績を達成し、本年度より乳がん検診についても委託にて開始したため利用者増となった。また、地域住民の健康維持・増進及び健康管理意識の向上のための啓蒙活動にも取り組み検診者の獲得を行った。

### 事業の状況

	平成 17 年度	平成 18 年度
政府管掌健診	795 名	1,149 名
脳ドック検診	153 名	214 名
その他の一般検診	511 名	301 名

## 3) 延岡リハビリテーション病院

当院は、県北のリハビリテーション施設として地域に貢献でき、また専門的な医療の提供ができることを基本方針とし、当院を受診される多くの方が希望をもって気持ちよく療養・リハビリテーションに励まれるように、医療とケアのニーズに対応している。入院に関しては、主に脳血管障害の片麻痺、失語、嚥下障害などのリハビリテーションを必要とする患者様や整形外科手術後のリハビリテーション患者様等を対象とし、県北地区での地域連携バスや病病連携を駆使し亜急性期・回復期リハビリテーション対象患者のスムーズな受入れ体制を強化している。外来に関しては、地域社会に貢献できる医療の質を保ち、地域住民のニーズに対応して、年々患者数が増加している。より質の高いリハビリテーション医療の提供を行うとともに、リハビリテーション医療の一層の啓蒙、普及及び拡充を図るため、大学、各種専門学校等との連携した諸実習受け入れや研修、研究事業等を行った。

### 入院・外来等調

病床数	80 床
平均入院患者数（1日平均）	78.0 人
平均在院日数（年間平均）	142.4 日
入院患者延べ数	199 人
退院患者延べ数	201 人
外来患者延べ数（年間）	16,920 人
内訳 初診者数	1,232 人
再診者数	15,688 人
平均外来患者数（1日平均）	57.5 人

## 4) 所沢リハビリテーション病院

本年度当院では、近隣の協力病院・リハビリテーション病院施設との連携を中心に地域リハビリテーション医療について積極的に取り組んだ。脳血管疾患等リハビリテーション及び運動器リハビリテーションの施設を生かし、高次脳機能障害、失語症、嚥下障害などの重症例、ならびに1型糖尿病、精神障害合併例など、難治症例のリハビリテーションに大きな貢献を果たした。嚥下造影検査など検査体制の充実に努め、医療対応力の充実に努めた。また、引き続き在宅復帰の促進と長期的機能維持を目差した通所リハビリテーションを開始し、訪問リハビリテーション事業と連動した在宅リハビリテーションの展開を行った。職員の各種研修会への参加はもとより、院内講習会によりリハビリテーション専門スタッフの育成に努め、さらに杏林大学医学部リハビリテーション教室との協力関係を継続し、リハビリテーション医学の研究に寄与した。

入院・外来等調

病床数	112 床
平均入院患者数（1日平均）	96.5 人
平均在院日数（年間平均）	276.2 日
入院患者延べ数	123 人
退院患者延べ数	132 人
外来患者延べ数（年間）	1,046 人
内訳 初診者数	33 人
再診者数	1,013 人

5) 介護老人保健施設 ひむか苑

平成17年10月介護保険制度の改定、平成18年4月の介護報酬の改正により当苑における介護老人保健施設の理念としてのリハビリテーションの役割は、入所者・通所者の生活機能向上を目的とした集中的な維持期リハビリテーションの在り方において、リハビリマネジメント加算・認知症短期集中リハ加算の設定による在宅復帰生活支援強化策が打ち出され、業務の負担増にもかかわらず、各職種間の協働による業務の効率化を図り、地域の行政機関と協力し、安心して自立した在宅生活ができるよう支援活動をおこなった。なお、介護保険制度改定による通所利用者の要支援の方々に対して、新規介護予防事業についての取組みも地域包括支援センター及び居宅支援事業所との連携により介護サービスの提供を行った。また、(社)宮崎県老人保健施設協会事務局を担当している宮崎県身体拘束ゼロ推進会議が開催する研修事業への企画・運営協力、宮崎県介護支援専門員協議会の企画・運営、九州ブロック介護老人保健施設リハビリテーション研究大会への企画・運営を行い、宮崎県老人保健施設協会の研究大会及び各運営委員会(リハ・給食・相談指導・在宅支援・高齢者ケアプラン・その他)による研修会等により、県内介護老人保健施設の質的向上に寄与した。その他、「認知症介護のサービスの在り方と質の向上に関する研究事業」「認知症介護実務者の実習受託」・「宮崎県介護普及センター事業」・「宮崎市介護保険審査会」など、行政各方面からの委託要請にも応えた。

入所・通所調

定数	入所 132 床 (認知症専門棟 30 床含む) 通所 68 床
1日平均一般入所者数(年間)	121.6 人
1日平均短期入所者数(年間)	3 人
1日平均一般通所者数(年間)介護予防含む	27.1 人
1日平均介護予防通所者数(年間)	1.6 人

6) 潤和会在宅医療支援センター

潤和会在宅医療支援センターは、介護保険制度改革への対応を中心とした事業展開を行い、全体としては新予防給付サービスを開始した。訪問リハビリテーションと通所リハビリテーション部門は、回復期リハビリテーション病棟と連携し、退院後早期のリハビリテーションの在り方について研究した。潤和会居宅介護支援事業所は、近隣の地域包括支援センターの予防給付事業に協力するほか支援困難事例への介入を積極的に行った。訪問看護部門は、生活圏域に沿った事業展開を進めた。訪問リハビリテーション部門は、訪問看護として実施していた部分を独立した事業部門とし、増大する利用ニーズに対応した。

事業の状況

(単位=件)

種別	介護保険	医療保険	計
訪問看護	3,300(275.00)	1,677(139.75)	4,977(414.75)
訪問リハビリテーション	4,377(364.75)	1,069(89.08)	5,446(453.83)
通所リハビリテーション	3,292(274.33)		3,292(274.33)
居宅介護支援事業所	1,436(119.70)		1,436(119.70)

(括弧内は月平均)

## 理学療法士養成事業

### 宮崎リハビリテーション学院

学院は設立後25年の経過と台風による浸水被害により建物の老朽化が一段と進行したため、平成20年4月の新規開校を目指し新館建築を計画している。平成18年度は、その前段階として12月に仮校舎への移転を行った。同時に新規開校に向けて新学科編成や定員および特色作り等さまざまな観点から検討を重ねた。教員については、計画的に実施している長期の教職員研修に派遣し、資質向上を図るとともに、台風災害後の教材や図書を整備を年度計画に沿って実施し、教育環境の整備に努めた。学生指導の面では、中途での挫折者を未然に防止する観点から、学生との面談の機会を増やし、精神面でのサポートや早目の対応ができる体制を強化した。また、本学院の設立理念である「地域リハビリテーションの実践教育」を推し進めるため、1年次においては臨床体験学習や地域研修内容を取り入れ、2年次には昨年同様離島研修として長崎県の対馬を訪問し、地域リハの実践活動を体験した。

#### 1) 学生の動向

- (1) 第23期卒業式 平成19年3月9日  
卒業生 52名 (卒業生累計 1037名)
- (2) 第26期入学式 平成19年4月3日  
入学者数 57名
  - 推薦入学試験 平成19年1月27日～28日  
合格者 12名(辞退者なし)
  - 前期入学試験 平成18年12月16日～17日  
合格者 38名(辞退4名)
  - 後期入学試験 平成19年2月17日～18日  
合格者 17名(辞退6名)

#### 2) 主な行事

- (1) 入学式(第25期生)  
平成18年4月1日(入学者数58名)
- (2) 臨床実習指導者会議(第23期生)  
平成18年4月21日(宮崎市)
- (3) 講師会議  
平成18年5月12日(宮崎市)
- (4) 県内専修・各種学校対抗スポーツ大会  
平成18年7月5日～6日(宮崎市)
- (5) 地域研修(2年生離島訪問リハ研修)  
平成18年8月3日～6日(長崎県対馬)
- (6) 九州管内専修・各種学校対抗スポーツ大会  
平成18年10月31日～11月2日(宮崎市)
- (7) 就職説明会(3年生)  
平成18年11月14日～15日
- (8) 理学療法士国家試験  
平成19年3月4日(福岡市)
- (9) 卒業式(第23期生)  
平成19年3月9日(卒業生52名)

処務の概況

1) 役員・評議員に関する事項

役員・評議員名簿

( 評 議 員 )

( 任期：平成19年7月1日～平成21年6月30日 )

役職	氏 名	就任年月日	常勤 非常勤
評議員	北野 正二郎	H11.7.21	非常勤
評議員	知覧 良久	H11.7.21	非常勤
評議員	見島 昭二	H11.7.21	非常勤
評議員	米良 充典	H11.7.21	非常勤
評議員	菅野 道雅	H14.6.20	非常勤
評議員	大野 篤則	H17.7.1	非常勤
評議員	高橋 均	H17.7.1	非常勤
評議員	原 正行	H17.7.1	非常勤
評議員	河野 寛一	H19.4.1	非常勤

( 理 事 )

( 任期：平成19年4月1日～平成21年3月31日 )

役職	氏 名	就任年月日	常 勤 非常勤
理 事	大野 和男	S.54.4.18	常 勤
理 事	北林 嘉紘	H.16.4.1	常 勤
理 事	國武 眞木雄	H.8.3.22	非常勤
理 事	川越 豊	H.11.7.1	非常勤
理 事	谷 仲吉	H.5.5.27	非常勤
理 事	呉屋 朝和	H.13.4.1	非常勤
理 事	大野 拓朗	H.15.4.1	非常勤
理 事	中村 彰利	H19.4.1	非常勤
理 事	綾部 隆夫	H19.4.1	非常勤
理 事	大野 順子	H19.4.1	非常勤
監 事	塩原 修蔵	H.9.6.13	非常勤
監 事	川上 清治	H.19.4.1	非常勤

2) 職員に関する事項

職	氏名	就任年月日	担当事務	備考
事務局長	北林 嘉紘	H15.4.1	事務全般	
総務部長	野津原 雄治	H16.4.1	〃	
他 836 名				

3) 契約に関する事項

契約締結年月日	契約の相手	契約の概要
平成 18 年 4 月 1 日	宮崎県	認知症介護実務者研修事業委託契約
平成 18 年 4 月 1 日	宮崎市	認定調査委託契約
平成 18 年 4 月 1 日	国富町	佐土原町通所機能訓練業務委託契約
平成 18 年 4 月 1 日	国富町	佐土原町在宅機能訓練業務委託契約
平成 18 年 4 月 1 日	宮崎市郡 医師会	宮崎市国民健康保険人間ドック及び脳ドック検査に係る 協定
平成 18 年 4 月 1 日	宮崎県市町村職員 共済組合	予防検診事業委託協定
平成 18 年 4 月 3 日	宮崎社会 保険事務局	政府管掌健康保険生活習慣病予防検診契約
平成 18 年 5 月 18 日	宮崎県	宮崎県地域リハビリテーション広域支援センター業務委託契約

4) その他の事項

ア. 主務官庁からの指示事項

主務官庁からの指示事項	指示年月日	指示事項に係る 履行の状況
公益法人制度改革に関する参考資料の送付 について	平成 18 年 4 月 17 日	平成 18 年 4 月 17 日通知
所管官庁出身者の公益法人理事等への就任 状況にかかる緊急調査について(作業依頼)	平成 18 年 5 月 12 日	平成 18 年 5 月 12 日提出
オンライン利用のための広報、普及活動に 関する調査について(作業依頼)	平成 18 年 8 月 1 日	平成 18 年 8 月 1 日提出

平成18年度公益法人概況調査等の実施について(依頼)	平成18年 9月27日	平成18年10月10日提出
定期検査における立入検査	平成18年 9月28日	平成18年12月8日実施
公益法人等における予備的調査について(作業依頼)	平成19年 1月12日	平成19年 1月18日提出
衆・予算委員会(共産党)からの資料要求について(作業依頼)	平成19年 2月15日	平成19年 2月19日提出

イ.訴訟関係

議案	相手方	経過
なし		